

住民の声

佐賀橋川地区を
お訪ねしました！

佐賀橋川地区は、佐賀地域の北東部、国道56号沿いに位置し、地区長によると戸数は35戸ほど、人口75人ほどの集落で、70歳以上の方が約30人と高齢化が進んでいるとのことです。

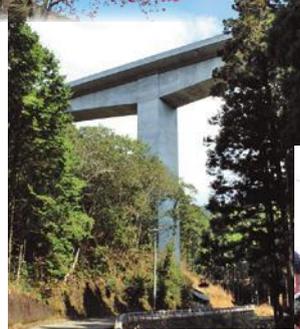
当地区では、毎年、桜の時期に地区住民総出による「敬老祝賀会」を開催し、お祝いと親睦を図っているとのことでした。また、夏と秋のお祭りや、年3回ほどの出役による

地域の守り神
「河内神社」



▲国道56号沿いの佐賀橋川地区(上2枚)
上の写真は下り方向を、下は上り方向を

▼民家庭先にも満開の桜が



▲地区内に完成の高規格道橋梁

る清掃活動なども住民の積極的な参加により、難なくこなし、更には、営農組合を立ち上げて、地区内外の要望に応えているとのことでした。お伺いした4月初旬には、満開の山桜が春本番を告げる中、タンポポやレンギョウなどが彩りを添えて迎えてくれました。

▲地域を支える女性たち
今日は料理で大活躍です



当地区は、私でさえ17年も区長を続けられることが物語るように、住民個々の人柄はもとより、まとまりが非常にいい地区です。地区の人口は、この17年ほどで少子高齢化などにより半分ほどとなりました。この人口減が地区の大きな課題となっていますが、最近、幼児が3人ほどに増え、地域は活力を頂いていま

矢野元 区長の声

す。今後も、この芽を更に伸ばしていけるよう、若者にも配慮した環境整備や仕組みづくりなど、さまざまな取組みをしなければと考えています。議会や行政への一言ですが、こうした状況下、一丸となって頑張っている当地区の課題解決に向けて、より一層の取組みをお願いします。



▲赤ちゃんも参加しての恒例の敬老祝賀会。手作り料理を囲んで賑わう中、起立した矢野区長からお言葉が(上2枚、4月2日、佐賀橋川集会所)

編集後記

山萌ゆる頃、木々が芽吹く生命の営みが始まります。

地方は昔から自然と共に暮らし、一次産業で子育てをし、次の世代へとつないできました。ここにこそ生きる希望とささやかな幸せがありました。ところが、今や一次産業の衰退は地方の暮らしにかけりを落として久しい。雇用が減り、若者が出て行った今では、高齢化や人口減に拍車がかかっています。議会としても、住民の代弁者として、また執行部の監視役として、これ迄以上に真正面から取り組む課題だと考えます。広報委員会のメンバーは今回が最後。初心を忘れず、次のメンバーにバトンを渡したいと思えます。(宮地葉子)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮川 徳光 |
| 副委員長 | 藤本 岩義 |
| 委員 | 浅野 修一 |
| 同 | 池内 弘道 |
| 同 | 宮地 葉子 |

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会
■編集 黒潮町議会広報常任委員会
■住所 高知県黒潮町黒潮町入野 2019-1 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

■発行日 平成 29年 5月 1日